



地震火災避難訓練

今日は、地震・火災避難訓練が行われました。熊本地震からもうすぐ8年が経とうとします。その教訓を風化させないためにも、学校で地震が起きたときに命が守れる行動を取れるようにするための大事な訓練となります。訓練の前に、各教室で動画を視聴し、地震のときの身の守り方を確認しました。その後、担任の方から、防災頭巾の被り方や、避難経路の確認等を行いました。防災頭巾を被って運動場に集まってくる子供たちの表情はとても真剣で、各学級での指導を受けて、心に響いていることがわかりました。

熊本地震後、活断層の周辺では、地震活動が高まった状態が続いています。専門家は「当時の地震ですべての断層帯がずれ動いたわけではなく、今後も大きな地震が起きるおそれがある」として備えを呼びかけています。

ご家庭でも地震が起きたときの対処の仕方を是非話し合っ欲しいと思います。例えば、①家の中での安全な場所 ②避難路、避難場所の確認 ③避難するとき、誰が何をもち出すかの役割分担 ④家族がバラバラに離れたときの連絡方法 ⑤災害時の必需品の備え などです。訓練を生かして、「備えあれば憂いなし」となってくれることを願いました。



桜はなぜ美しいのか？

入学式の私からの式辞に「春の訪れを感じさせる校庭の桜は、春休み中に咲き誇り、そして儚く散っていきました。そんな美しい姿から、今年も新たな一年の始まりである入学式の季節がやってくることを我々に気付かせてくれました。」という一節を話しました。このように、桜の花は、咲いても美しく散りゆく姿も美しさを感じます。これは私に限らず日本人なら多くの人がそう感じることでしょう。校庭の桜の木も「ソメイヨシノ(染井吉野)」が殆どですが、これは実は「エドヒガン」と「オオシマザクラ」を掛け合わせた雑種なのです。花びらの淡い紅色や、葉が出る前に花が咲く性質をエドヒガンから、花が大きい特徴をオオシマザクラからそれぞれ「いいとこ取り」をして受け継いでいます。さらに、全ての木が同じ遺伝子を持つクローンであることも特徴の一つです。ソメイヨシノは、接ぎ木でその数を増やしてきました。遺伝子が同じなので、環境が似ていればほぼ同時に咲きます。一斉に咲き誇ったかと思えば、一斉に散って、無常観や美意識に訴えてくる桜の姿は、クローンのおかげだったのです。

